

(別紙)

返還ガラス固化体の輸送容器の主な測定結果について（全 1 基）

（英国 Sellafield 再処理工場における測定結果の最大値）

項 目		合 格 基 準	結 果
			1 基目
			S11B130 ^{* 1} 28 体用
放射 性物 質 の 表 面 密 度	α線を放出する 放射性物質	0.4Bq/cm ² を 超えないこと	N.D.
	α線を放出しない 放射性物質	4.0Bq/cm ² を 超えないこと	N.D.
線 量 当 量 率	輸送容器表面	2mSv/h を 超えないこと	0.548 mSv/h
	輸送容器表面から 1m離れた位置	0.1mSv/h を 超えないこと	0.057 mSv/h
温度測定 (補正された表面温度) ^{* 2}		85 を 超えないこと	43
気密漏洩 〔容器本体と蓋部及び オリフィス部の密封部〕		1.33×10^{-3} MPa・cm ³ /s を超えないこと	3.45×10^{-4} MPa・cm ³ /s
圧力測定		初期充填圧力が 設定値以下であ ること	18.97kPa

注) * 1 : 承認容器登録番号

* 2 : 周囲温度 38 条件下における表面温度となるように次式で補正した温度

$$(\text{補正温度}) = (\text{測定温度}) - (\text{周囲温度}) + 38$$

N.D. : 検出限界未満を示す。

$$\left[\begin{array}{l} \alpha \text{線を放出する放射性物質の検出限界} : 0.01\text{Bq/cm}^2 \\ \alpha \text{線を放出しない放射性物質の検出限界} : 0.05\text{Bq/cm}^2 \end{array} \right]$$

Bq : ベクレル 放射性物質が放射線を出す能力（放射性物質の量）を表す単位
(1秒間に原子核が壊変する数)

Sv : シーベルト 人間が放射線から受ける影響の度合いを表す単位